

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
レクリエーション普及事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
加盟団体の種目を地域で紹介・指導し、スポーツ・レクリエーションの楽しさを体験を通じて、健康・体力づくりが身近な活動であると理解していただき、団体への加入を促す。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
市民(幼児から高齢者まで)	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市 地域公民館 地域小学校			
取組の内容			
<p>○ニュースポーツ種目の紹介と体験教室／講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新春インディアカ会 ・ソフトバレー教室 ・家庭婦人バレーボール ・ビーチバレーボール教室</li> <li>・ミニテニス教室 ・ファミリーバドミントン教室 ・ディスコン教室 ・スポーツ吹き矢体験会</li> <li>・グランウンドゴルフ講習会 ・初心者ペタンク教室 ・初心者ターゲットバードゴルフ講習会</li> </ul> <p>○レクリエーション種目の紹介と体験／講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣でウォークラリー ・お花見ウォークラリー ・父親と子の体操 ・3B体操体験会</li> <li>・初心者日本民謡教室 ・フォークダンス講習会 ・楽しい室内ゲームの会</li> <li>・手づくりクラフトで遊ぼう教室 ・初心者社交ダンス教室 ・サイクリング教室(自転車に乗れない人の)</li> <li>・昔遊び体験教室</li> </ul>			
取組の成果			
<p>市民の方々が、ニュースポーツやレクリエーション種目の教室・講習会に参加し、体験したことにより、活動の楽しさを実感することができたと感じました。</p> <p>それぞれの種目活動を通じて、楽しくできる健康・体力づくりに関心をもち、また身体活動を日常生活化する大切さを実感したものと思います。</p> <p>「課題」 ・ 個人個人の行動から、レクリエーション・グループ、クラブに加入していただき、活動を通じて楽しい、生き甲斐のある仲間づくりと健康・体力づくりを広めていきたい。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
第15回 さいたま市レクリエーションフェスティバル	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
多種多様なスポーツ・レクリエーション種目を紹介し、体験を通じて健康・体力づくりが身近な活動として理解していただき、日常生活に役立つことを目的とする。			
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
市民(幼児から高齢者まで)		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市、NPO埼玉県レクリエーション協会			
取組の内容			
<p>○ニュースポーツ種目の紹介と体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インディアカ ・ソフトバレー ・バレーボール ・ビーチバレーボール ・ミニテニス</li> <li>・ファミリーバドミントン ・ディスコン ・スポーツ吹き矢 ・グランウンドゴルフ ・ペタンク</li> <li>・ターゲットバードゴルフ</li> </ul> <p>○レクリエーション種目の紹介と体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー ・親子体操 ・3B体操 ・日本民踊 ・フォークダンス ・楽しい室内ゲーム</li> <li>・手づくりクラフトで遊ぼう ・社交ダンス ・サイクリング ・伝承遊び</li> </ul>			
取組の成果			
<p>親子連れで賑わいニュースポーツやレクリエーション種目を体験することにより、スタンプラリー形式で種目を楽しく体験することにより、活動の楽しさを実感することができたものと感じられた。</p> <p>それぞれの種目活動の楽しさを通じて、楽しくできる健康・体力づくりに関心をもち、また身体活動を日常生活化する大切さを実感したものと思います。</p> <p>「課題」・ 個人個人の行動から、レクリエーション・グループ、クラブに加入していただき、活動を通じて日常生活の中で仲間づくりと健康・体力づくりで地域の絆を広めていきたい。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
・母子の健康と育児に関する事業 (子育て支援事業) ・高齢社会に対する声かけ・見守り事業 ・さいたま市への保健事業協力	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
スローガン 1. 愛の一声、健康づくりを広めましょう 2. 健やかな子を育て、明るい家庭づくりをひろめましょう 3. 住みよいふるさと、長寿社会づくりを広めましょう			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消 7 受動喫煙の防止と禁煙
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
各区の母子・高齢者・地域住民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
保健所・各区保健センター・自治会・社会福祉協議会・結核予防会			
取組の内容			
<p>地域の母子保健と高齢者福祉の向上、地域住民の健康推進活動を目的に、7区11地区で活動している。</p> <p>全体研修 講演「さいたま市祖父母手帳とは！？～子育ての新常識を学ぶ～」 講師 さいたま市子育て支援総合コーディネーター 加藤 恒 氏</p> <p>地区自主事業 ・子育て支援事業 親子支援活動 三世代交流 訪問活動 (赤ちゃんの健全な発育のための健診の推奨と親子の孤立死防止等)</p> <p>・高齢者やひとり暮らしの方への支援 声かけ ふれあい会食 介護予防体操 健康体操 おしゃべりサロン 歌ごえ喫茶</p> <p>・禁煙の推奨 周辺での喫煙に対し、身体への影響などを話し、禁煙協力を呼びかける</p> <p>行政協力・協働事業 ・各区の保健事業の協力 育児相談 ふたごの集い 親子教室 育児学級 生活習慣病予防教室</p> <p>・結核予防パンフレットの配布</p>			
取組の成果			
<p>健康づくりについて、各地区の問題を少しでも解決できるよう、班員たちが自主性を持って取り組む中で、事業参加者から感謝の言葉を沢山いただく。その喜びが次の活動の原動力となるとともに、班員自身の健康増進にも繋がっている。</p>			



事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
会員向け定期健康診断等の実施			3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
会員事業従業員等の健康管理・福利厚生に寄与する			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま商工会議所会員の事業者並びに従業員	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
(2)中央支部事業の「出張歯科検診」については、一般社団法人と野歯科医師会と協働 (3)「PET検診優待サービス」については、済生会川口総合病院と業務提携			
取組の内容			
1. 市内4地域(浦和・大宮・中央・岩槻)で会員事業所従業員等に向けた健康診断等を実施  (1)一般定期健康診断(4地域)、生活習慣病検診(岩槻地域)、人間ドック(浦和・大宮・中央地域)を年1回、当所が指定する受診機関にて実施  (2)出張歯科検診(中央地域)の実施  (3)PET検診優待サービス  2. メンタルヘルス・マネジメント検定試験の施行を通じたメンタルヘルス対策の普及促進			
取組の成果			
安衛法、案衛則に基づき、事業主に義務付けられている法定検診について、事業主の事務負担を軽減し、併せて人間ドック等の受診を促すなど、傷病の早期発見・治療につながっている。事業所からは、簡単に利用できることへの評価を得ており、毎年の継続受診につながっている。  PET検診の受診については、受信者数が景気動向に左右されがちではあるが、悪性腫瘍の患者数の増加などに関する関心から安定的な受診者数で推移している。  メンタルヘルス対策の普及促進をするうえで、事業者の取組みのひとつとして企業を通じての検定試験の受験者が毎年増えている。また、個人としての関心も高くなっている。			

平成28年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(一般社団法人さいたま市薬剤師会)

事業名	重点目標		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
(Ⅰ)第6回市民公開講座 (Ⅱ)第5回薬物乱用防止キャンペーン (Ⅲ)第4回政令市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
健康に関するさまざまな情報を整理し、正しい知識を持って頂くこと			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
(Ⅰ)公開応募一般市民 (Ⅱ)(Ⅲ)浦和駅、新都心駅通行者			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市保健福祉局、埼玉県警			
取組の内容			
<p>(Ⅰ)ロイヤルパインズホテルにおいて、「どんとこい認知症ー住みなれた町で暮らし続けるためにおさえておくべきことー」という演題で、平川病院理事長 平川博之先生にご講演いただきました。市民150名が参加。</p> <p>(Ⅱ)JR浦和駅東西通路にて薬物乱用防止啓発資料配布、違法薬物展示、ビデオ放映、薬事相談、キッズ調剤、アルコールパッチテストを実施。会員70名、学生7名、埼玉県警3名、さいたま市保健福祉局4名が従事し、「ポップくん」「つなが竜ヌウ」「ウサギ・トラ」の着ぐるみが参加。</p> <p>(Ⅲ)JRさいたま新都心駅東西自由通路にて、政令指定都市薬剤師会20都市が同一日に薬物乱用防止啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発うちわ3,000本</li> <li>・啓発パッケージ(薬物乱用防止リーフレット、市薬剤師会活動紹介チラシ、ウェット・ポケットティッシュ)2,000セット</li> </ul> <p>＝合計5,000人分を配布。市薬剤師会会員74名が参加。</p>			
取組の成果			
<p>(Ⅰ)認知症はありふれた病気で周囲の対応方法により症状は大きく変化するため、認知症の人を支える地域づくりが大切。</p> <p>(Ⅱ)(Ⅲ)大勢の市民の方に薬物乱用の怖さ呼びかけることができたのではないかと思います。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
在宅保健師等による支援事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の利用率向上</li> <li>・食生活の改善や運動の習慣化による生活習慣病予防</li> </ul>			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	単年度事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」			
取組の内容			
<p>埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」の会員(保健師)を派遣し、さいたま市が行う保健事業の円滑な実施を支援した。</p> <p>具体的な支援内容は、以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特定保健指導対象者への電話による利用勧奨</li> <li>2 健康教室(運動指導、栄養講座、グループワーク等)における、教室運営補助、参加者の健康チェック及び健康相談</li> <li>3 健康まつりでの健康測定機器による測定、結果説明及び健康相談</li> </ol>			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験豊富な会員が電話による特定保健指導の利用勧奨を行うことにより、参加意欲を促し、利用申込みにつながった。</li> <li>・マンパワーの提供により、スムーズな健康教室等の運営ができた。</li> </ul>			



平成28年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市4医師会連絡協議会)

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
平成28年度さいたま市成人保健事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
各検診・健診を通して、疾病の早期発見に努める。 特定健診・特定保健指導・生活機能評価でメタボリックシンドローム該当者、寝たきりを減らす。			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
さいたま市民(各検診・健診ごとに対象者の年齢・性別の違いあり。)			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市4医師会、さいたま市国民健康保険課、年金医療課、高齢福祉課、さいたま市保健所地域保健支援課			
取組の内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性のヘルスチェック(平成29年3月31日時点で18歳～39歳の女性)</li> <li>2. 前立腺がん検診(平成29年3月31日時点で50歳～80歳の男性)</li> <li>3. 肝炎ウイルス検診(平成29年3月31日時点で40歳以上で前年度以前に検診を受けたことのない方)</li> <li>4. 骨粗しょう症健診(平成29年3月31日時点で40歳、45歳及び50歳～80歳の女性で前年度未受診の方)</li> <li>5. 胃がん検診(平成29年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>6. 大腸がん検診(平成29年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>7. 肺がん・結核検診(平成29年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>8. 乳がん検診(平成29年3月31日時点で40歳以上の女性で前年度未受診の方)</li> <li>9. 子宮がん検診(平成29年3月31日時点で20歳以上の女性、40歳以上は前年度未受診の方、子宮体がん検診は40歳以上の方)</li> <li>10. 特定健診 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)さいたま市国保特定健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で平成29年3月末現在で40歳～74歳の方)</li> <li>2)後期高齢者健診(さいたま市在住で75歳以上の者および心身障害者で65～74歳で後期高齢者医療制度に加入している方)</li> <li>3)さいたま市国保健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で平成29年3月末現在で35歳～39歳の男性)</li> </ol> </li> <li>11. 特定保健指導(動機付け支援)</li> </ol>			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2、5、6、7では早期発見により、早期治療につながり、延命に貢献した。</li> <li>・検診・健診の未受診者への受診勧奨などをすすめた結果、受診率の向上の傾向がある。</li> </ul>			

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
さいたま市食生活改善推進員協議会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
「私達の健康は私たちの手で」をスローガンに一人ひとりの健康問題を地域で取組む活動			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
ヘルスマイト及び年齢を問わない市民			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県・さいたま市・日本食生活協会・公民館・学校			
取組の内容			
<p>1 生活習慣病予防のための食生活支援事業</p> <p>2 つなぐパートナーシップ事業</p> <p>3 パパとチャレンジ！わくわくクッキング 10区で実施</p> <p>4 糖尿病、高血圧、骨粗鬆症予防の食事の取り組み</p> <p>5 歯と口の健康 休養 心の健康づくり</p> <p>6 高齢者のための食事</p> <p>7 リーダー研修会 合同研修会 栄養士の講義 調理実習</p> <p>8 地域委託事業 生活習慣病予防の講義 調理実習</p> <p>9 保健センター事業の協力 親子食育事業 4箇所で開催</p> <p>10 文化祭の協力 健康イベント開催協力 高齢者ふれあい会食 夏休み子供クッキング 男性料理教室 手作りみそなど各種健康教育を実施</p>			
取組の成果			
<p>食べ物は満ち溢れていますが、日々の食事を真剣に考えない人が多い中、参加したことで食生活の見直しにつながるようです。作った人の感謝の気持ちを大切に、健康な身体こそ豊かな生活の基本であることを自覚したことと思います。</p>			



事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
JAの機能を活かした健康づくり	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
健康づくりに係るイベントを実施し 地元住民・役職員等の健康の保持増進を図る			
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
JAさいたま役職員、組合員、女性部員、共済友の会会員、年金友の会会員		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県農協健康保険組合、JA埼玉県中央会、新久喜総合病院、熊谷総合病院、			
取組の内容			
<b>実施内容</b> 定期健康診断 被扶養者特定健診 産業医による個別健康教育 インフルエンザ予防接種 インフルエンザ・ノロウイルス予防情報提供 農業従事者検診 生活習慣病検診 女性部歩け歩け運動・ノルディックウォーク 健康風土に合った料理講習会 JAさいたま旗争奪少年野球大会 年金友の会グラウンドゴルフ大会 年金友の会ゲートボール大会 女性部グラウンドゴルフ大会 ミニデイサービス 女性のための健康講座 人間ドック受診費用の助成 インフルエンザ・ノロウイルス予防情報提供	<b>対象者</b> 役職員・嘱託・パート 40歳以上の被扶養者 定期健診によりハイリスク者と診断された役職員希望者(役職員の農協健保加入者) 役職員・嘱託・パート 正組合員・女性部員 共済友の会会員 女性部 女性部 さいたま市スポーツ少年団小学生軟式野球部 年金友の会会員 年金友の会会員 女性部 組合員等 女性部 40歳以上の健保加入者と、35歳・38歳の被保険者 役職員・嘱託・パート	  	
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAさいたま人間ドックの受診費用助成を行い、受診率向上を目指しました。</li> <li>・役職員・組合員・共済友の会会員を対象に健康診断を実施し、疾病予防・早期発見を図りました。</li> <li>・グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会等のイベントを通じ、地域コミュニケーションの活性化、スポーツを楽しむことによる健康活動の推進を図りました。</li> <li>・役職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施し、感染症予防と感染拡大防止に努めました。</li> <li>・ミニデイサービスを各支店で実施し、ゲーム等遊びを通じて健康づくりの推進を図りました。</li> <li>・役職員健診結果において、数値が要治療レベルにもかかわらず通院・治療していない者をピックアップし、産業医による個別の健康指導を実施し、早期の疾病予防・対策を図りました。</li> <li>・インフルエンザ・ノロウイルスのリーフレットを配布し、情報提供を行うことで予防啓発に努めました。</li> </ul>			

平成28年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市歯科医師会)

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
①市民フォーラム ②口腔がん検診	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
①さいたま市民に対するがん(口腔)の講話 ②市民に検診を受け、早期発見を図ることで早期に治療をうながす。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
与野歯科医師会、東京歯科大学口腔外科、大宮歯科医師会、明海大学歯学部口腔外科			
取組の内容			
1:平成28年7月 口腔がんに対する教育・啓蒙 … 市民140名が参加しました。			
2:平成28年11月 口腔がん検診(大宮歯科医師会) … 市民90名が参加しました。			
取組の成果			
毎年継続している事業であり、今後も市民に口腔の健康について啓発を行っていくことが重要だと考えております。			